

平成31年度 宮城県名取北高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	◎	○	○	地理歴史	◎	○	公民	○	◎	○	数学	○	○	○	理科	◎	○	○
	表現力・理解力を養い、多様性を認め合い、国語を尊重し、社会の一員としての自覚を持って豊かな社会を形成していく力を育てる。		世界各国の歴史・文化・風土を尊重し、異文化理解を深め、世界における日本を考察し、国際社会へ貢献しようとする資質を育てる。		現代の社会や人間の生き方について主体的に考察し、社会の中で果たすべき自己の役割やよりよい生き方を探求する公民的資質を養う。		数学的活動を通して、論理的思考力や洞察力を高め、科学社会において自律して判断していく能力を育てる。		科学的な知識や思考を身につけることにより、自然と人間との関わりを探究し、持続可能な社会の実現に貢献しようとする態度を養う。										
	保健体育	○	○	◎	芸術	◎	○	外国語	◎	○	○	家庭	◎	○	○	情報	◎	○	○
	運動をとおして体力の向上を図り、仲間と協力して自らの責任を果たす態度を養うとともに、心身ともに健康な生活を送るための知識と能力、実践力を養う。		表現や創造、鑑賞などの活動を通し、価値観の違いや互いの存在意義を認め合い、人や社会との関わりを感じ共生できる豊かな心情を育む。		外国語の学習を通じて、異文化に対する関心・理解を深め、情報や考えを適切に伝えるための聴く、読む、話す、書くの各分野におけるコミュニケーション能力を養う。		社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践力を育てる。		進展する情報社会の中で、一人ひとりが必要な情報を選択し真偽を判断して、健全で生産的なコミュニケーションがはかれる能力を育成する。										
学年共通				かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標												
指導内容	① あいさつの励行	◎	○	○	1年	○自分の適性を把握し他者との関係を通して望ましい人間関係を形成する。 ○規範意識を高め、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○基礎学力の定着を図るとともに、自主的な学習習慣を確立させる。 ○部活動や校外学習等の諸活動を通して、協調性、社会性を育成する。													
	② 学習習慣の徹底	◎	○	○		2年	○学校生活全般に対して主体的に取り組む姿勢を育成する。 ○学力の向上を図るとともに、自主的で計画的な学習習慣を確立させる。 ○挑戦的な進路目標を設定しその達成に向けて、進路研究及び発表の機会を積極的に設ける。												
	③ 基本的な生活習慣の確立	◎	○	○	3年		○自らの能力と適性を的確に判断し、高校卒業後の進路先を決定する。 ○自らの進路先や志について探究し、長期的な将来像を持たせる。 ○進路や志を実現するための課題を見出し、計画的に考え行動する。 ○卒業後に必要となる社会的能力・習慣を身に付ける。												
	④ 定時着席の励行	◎	○	○			1年	○自らの能力と適性を的確に判断し、高校卒業後の進路先を決定する。 ○自らの進路先や志について探究し、長期的な将来像を持たせる。 ○進路や志を実現するための課題を見出し、計画的に考え行動する。 ○卒業後に必要となる社会的能力・習慣を身に付ける。											
	⑤ 部活動の活性化	◎	○	○	2年	○自らの能力と適性を的確に判断し、高校卒業後の進路先を決定する。 ○自らの進路先や志について探究し、長期的な将来像を持たせる。 ○進路や志を実現するための課題を見出し、計画的に考え行動する。 ○卒業後に必要となる社会的能力・習慣を身に付ける。													
	⑥ 清掃活動の徹底	◎	○	○		3年	○自らの能力と適性を的確に判断し、高校卒業後の進路先を決定する。 ○自らの進路先や志について探究し、長期的な将来像を持たせる。 ○進路や志を実現するための課題を見出し、計画的に考え行動する。 ○卒業後に必要となる社会的能力・習慣を身に付ける。												
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす								
1年	外部講師・団体による各種講演の実施	多方面から講師を招き、自己理解、文理選択、探究課題設定などの一助とする			総合的な探究の時間		通年	6	◎	○	○								
	1年オリエンテーション	高校生活のスタートにあたり、学校生活、学習、進路について学ぶ			LHR、総合的な探究の時間		4月	12	○	◎	○								
	高大連携事業に係る地域講座	様々な学問分野で活躍している大学の教員を招き、最先端の研究に直接触れる機会とする			高大連携・地域連携事業		7月	2	○	◎	○								
	キャリアセミナー	社会人及び学生講師との対話を通して自分を知り、社会を知る一助とする			総合的な探究の時間		12月	2	◎	○	○								
	進路ガイダンス	多様な進路に関する理解を深め、主体的な進路選択能力を養う			総合的な探究の時間		1・3月	4	◎	○	○								
2年	外部講師・団体による講演・講座の実施	各方面からの講師を招き、進路選択の一助とし、社会に対する視野を広げる			総合的な学習の時間		通年	4	◎	○	○								
	マイナビ進学フェスタへの参加	学校外の進路行事に参加することにより、進路選択の参考とし、意欲を喚起する			総合的な学習の時間		7月	4	◎	○	○								
	高大連携事業に係る地域講座	様々な学問分野で活躍している大学の教員を招き、最先端の研究に直接触れる機会とする			高大連携・地域連携事業		7月	2	○	◎	○								
	修学旅行	クラス研修・グループ研修の企画・立案・実施を通して集団行動のあり方について考えるとともに、自主性・計画性を身に付ける			LHR		後期	6	◎	○	○								
	オープンキャンパス参加	希望進路先を訪問し進路決定の意志を確固たるものにする			総合的な学習の時間		7月～9月	—	○	◎	○								
	進路ガイダンス	進路に関する理解を深め、進路決定の参考とし、今後のスケジュールを考える			総合的な学習の時間		3月	2	◎	○	○								
3年	外部講師・団体による各種講演の実施	各方面からの講師を招き、進路選択の一助とし、社会に対する視野を広げる			総合的な学習の時間		通年	14	◎	○	○								
	高大連携事業に係る地域講座	様々な学問分野で活躍している大学の教員を招き、最先端の研究に直接触れる機会とする			高大連携・地域連携事業		7月	2	○	◎	○								
	課題探究	防災教育や保健講話、社会人講話を実施し、社会で必要となる知識・教養を身に付ける			総合的な学習の時間		6月,11月,12月	5	○	◎	○								
							合計時数	59											